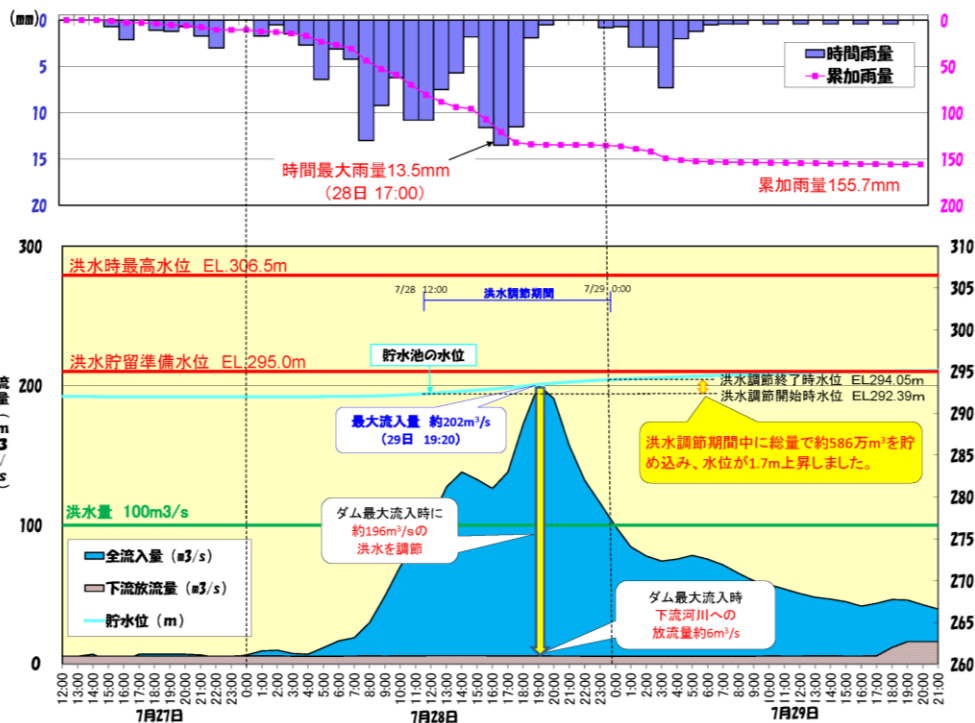


# 阿武隈川水系 摺上川ダムの効果 (令和2年7月28日～29日 低気圧)

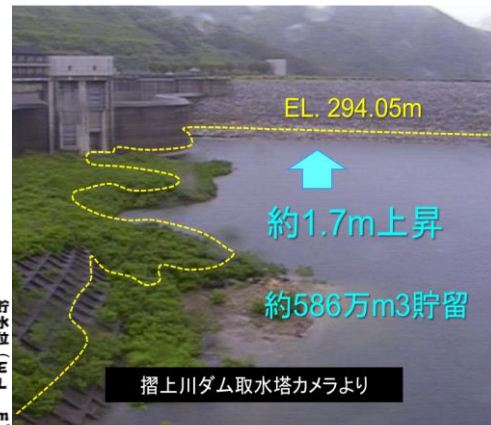
- 低気圧の影響に伴い摺上川ダム流域は、1時間雨量が最大で約14mmとなるなど、7月27日14時頃から29日19時時点までの累加雨量が約156mmに達し、ダムへの最大流入量は毎秒約202m<sup>3</sup>を記録しました。
- 今回の防災操作（洪水調節）では、最大流入時に毎秒約196m<sup>3</sup>の洪水を調節しました。
- 洪水調節期間（28日12時00分～29日0時00分）の貯留量は約586万m<sup>3</sup>（東京ドーム4.7個分）にもなりました。
- ダム下流の瀬ノ上地点（福島市瀬ノ上付近）において、約0.44mの水位を下げる効果があったと推測されます。

※数値は速報値であり、今後変わる可能性があります。

## 瀬ノ上地点でのダムの効果(推定)



洪水調節前のダムの状況  
7月28日



貯水位 EL.292.39m



約0.44m水位を下げる効果があったものと推定されます。